



墨中だより

令和2年6月 4日(木)
6月号
墨田区立墨田中学校

感染防止と教育活動の両立

校長 杉浦 伸一

「おかえりなさい・ようこそ墨田中学校へ」

進級・進学をはさみ約3カ月間の臨時休業という長く辛いトンネルを抜け、6月からようやく授業再開となりました。まずは、2・3年生の皆さんに、「よく耐え、自分と周りの大切な人の命を守って元気に登校できましたね。おかえりなさい！」そして、1年生の皆さんに、「ようこそ墨田中学校へ！本校の先生たちは、皆さんが、あせらず、ゆっくりと新しい学校生活に慣れるよう、この間しっかりと準備をしてきました。不安や悩みをしっかりと受け止め支援していくので安心してください。」とエールを贈ります。

さて、皆さんは、この間、どのように過ごし何を考えましたか。確かに、誰しもが今までに経験したことのない自粛生活は、つらさやストレスを感じ、生活のリズムや栄養のバランスが乱れる期間だったと思います。学校の授業が始まり皆さんがどれだけ暗い顔をして登校してくるのだろうと心配していました。ところが皆さんは、明るく穏やかな表情で「学校に通える・仲間に見える嬉しさ」がにじみ出ていました。中学生は、つらさに柔軟に適応し、屈することなく乗り越えるたくましさを持っているのだと感心しました。皆さんの臨時休業中に書いた作文を読みましたが、「自分から規則正しい生活を心がけた」「出された宿題しかやらなかった僕が自主的に勉強をするようになった」「家の手伝いを積極的にするようになった」「けんかばかりしていた弟と仲良くなった」「学校で勉強できない受験の不安を消すのは、自分で勉強をがんばるしかない」「学校が始まったら真面目に授業を受けようと心に誓った」「今こそピンチをチャンスに変える時だ」「苦は楽の種」「七転び八起き」「転んでもタダでは起きない」「この逆境をバネにした」と、それぞれ苦境の中から様々な事を学んでいることがわかりました。この前向きな学びを多くの仲間と共有し、これからの「墨田中学校の新しい生活様式」に生かし、さらに素晴らしい墨田中学校を創っていきましょう。

緊急事態宣言は解かれたものの、今後も予断を許さず、段階的な学校再開による分散登校で当面、「3つの密」を避けるための感染防止策の徹底に努めます。マスク着用や手洗い等、感染防止のための決まりは、これまでの学校の規則とは次元が異なり、命に関わる約束事です。先生方はこのことについては厳しく指導をします。何度も注意されることがあってはなりません。

明けない夜はありません。必ず平和な日常が訪れます。その時に、「辛かったけど、あの頃、一緒に耐え、頑張って生き抜いたから今の幸せがあるんだね。」と仲間や家族と笑顔で語り合える「新しい日常」を一人一人の努力で一日も早く実現しましょう。

「保護者の方々への感謝」

保護者の皆様には、臨時休業中、大半を家庭で過ごすこととなったお子様の健康・安全・見守り等の対応に感謝申し上げます。また、学校からの情報を配信メールやホームページ等で確認、応答、行動していただいたお陰で休業中の生徒全体の健康状態が把握でき、混乱なく学校再開できました。学校における感染防止対策は万全を期して参りますので安心してお子さんを登校させてください。本年度は多くの教職員を新たに迎えさらに充実した教育活動に努めて参ります。

「地域の皆様への感謝とお詫び」

自粛・Stay Home を呼びかけ地域・町会全体を守っていただきました地域の皆様に本校生徒・教職員を代表して深く感謝申し上げます。しかしながら今なお、東京アラートが発動され、他県の学校でクラスターが発生しております。卒業式同様、感染予防の観点から、今回、入学式におきましても、ご来賓の方のご列席を控えさせていただきますことをご容赦ください。従来のように地域で育てていただく生徒の姿を願ってやみません。